

TA-210

- 0.08mm²～0.34mm²の細い電線専用の圧着工具
- ラatchet機構により安定した圧着品質を実現



工具の圧着可能範囲に注意してフェルールの導電部を差込んでください。

※注意 TA-210で圧着したフェルール端子及び板状に圧着したフェルール端子はVTZシリーズにご使用できませんのでご注意ください。

TA-210なら、0.08mm²の電線を0.14mm²、0.25mm²、及び0.34mm²用のフェルールで圧着することができます。板状に圧着する機構により、極細電線でも均一性のある圧着品質が得られるようになっています。

形式	適合電線サイズ	圧着形状	質量	標準価格(税抜)
TA-210	0.08mm ² ～0.34mm ² AWG28～AWG22		340g	26,390円

TA-210 適合端子台

	形式	適合電線サイズ	フェルール導電部長さ
端子台	JT10-CH□P JT20-CH□P JT40-CH□P	AWG28～22 0.08～0.34mm ²	10mm
	VTX-1.5/2 VTX-1.5/3 VTX-1.5/4 VTXW-1.5/2		10mm
インターフェイス (コネクタ端子台)	PCXシリーズ PCXVシリーズ		8、10、12mm
	PCV5シリーズ PCIV PCRY(P)-4FVIF		8、10mm
CC-Link	伝送/電源用コネクタ	AWG24～22 0.2～0.34mm ²	10mm
	入出力用端子台 MT1XRシリーズ	AWG28～22 0.08～0.34mm ²	8、10、12mm
	入出力用端子台 AT1VRシリーズ CT1VRシリーズ		8、10mm
中継BOX	BVT-5 (BOXTSシリーズ)		8、10mm

その他推奨工具 (調達製品)

形式	外観	適合電線サイズ	圧着形状	質量	標準価格(税抜)
CEB0160S		0.14mm ² ～6mm ² AWG26～AWG10		370g	71,610円
CEB1025		10mm ² ～25mm ² AWG8～AWG4		515g	80,850円

フェルール用圧着工具

【圧着工具適合表】

電線サイズ断面積			適合フェルール		TA-540	TA-210	CEB0160S	CEB1025
mm ²	/	AWG	絶縁スリーブ付きフェルール GB型絶縁スリーブ付フェルール 2本接続用フェルール					
0.08 (0.08)	/	28	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	-	○	-	-
0.14 (0.12)	/	26	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.25 (0.2)	/	24	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.34 (0.3)	/	22	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.5 (0.5)	/	20	TA0.5-※※ TA0.5-※WH-GB		○	-	○	-
0.75 (0.75)	/	18	TA0.75-※※ TA0.75-※GY-GB		○	-	○	-
1	/	18	TA1-※※ TA1-※RD-GB		○	-	○	-
1.5 (1.25)	/	16	TA1.5-※※ TA1.5-※BK-GB		○	-	○	-
2.5 (2)	/	14	TA2.5-※BU		○	-	○	-
4 (3.5)	/	12	TA4-※GY		○	-	○	-
6 (5.5)	/	10	TA6-12※		○	-	○	-
10(8)	/	8	TA10-12RD		○	-	-	○
16(14)	/	6	TA16-12BU		○	-	-	○
2×0.5 (2×0.5)	/		TAW0.5-※WH		○	-	○	-
2×0.75 (2×0.75)	/		TAW0.75-※GY		○	-	○	-
2×1	/		TAW1-※RD		○	-	○	-
2×1.5 (2×1.25)	/		TAW1.5-※BK		○	-	○	-
2×2.5 (2×2)	/		TAW2.5-※BU		○	-	○	-

※ ()内寸法はJIS断面積

● 圧着作業の手順と留意点

		
①電線の被覆をフェールの“推奨電線むき長さ”にむく。(P440、441 参照)	②フェールに銅線を挿入し、フェールの導電部を適合工具で圧着する。	③フェール先端からはみ出した銅線を0～0.5mmに切断する。

※被覆をむく時に銅線をキズつけないよう注意してください。

※フェールの圧着は工具のラチェットが解除するまで握りきってください。

※軽く電線を引張り、電線がフェールから抜けない事を確認してから機器へ接続してください。

◆ 端末処理の悪い例

下記の処理状態は接続後のトラブルの原因となりますので圧着作業をやり直して下さい。

- A. 銅線がフェールの中で折り返され、フェールの絶縁スリーブからはみ出している。
- B. フェールの先端から銅線が極端にはみ出している。
- C. 電線の挿入が浅いまま圧着し、銅線が露出している。
- D. 電線むき長さが足りず銅線がフェール先端まで入っていない。
- E. 先端のみ圧着されている。
- F. 1本用のフェールに電線を2本圧着している。
- G. 銅線にキズ、又は断線箇所がある。

